



財団法人柳田國男・松岡家  
顕彰会記念館  
〒679-2204  
神崎郡福崎町西田原 1038  
の12  
電話：0790-22-1000

# 松岡映丘画稿展

## & 辻広場祭り

松岡映丘画稿展

4月29日から辻広場祭りの日に合わせて開催した「こども」をテーマにした松岡映丘画稿展は好評のため、当面の間、引き続き展示します。期間延長により、より多くの方に観ていただけるようになりました。



画稿展の様子

画稿展では、子どものころの映丘が描いた絵を展示しています。6歳のときに描いた「武者絵」などは、後の活躍を予感させます。武者絵



また、映丘が描いた子どもをテーマに、仕事・遊び・おとぎ話の中の子どもが登場する画稿も展示しています。桃太郎や浦島太郎などのおなじみのキャラクターを映丘はどう描いたのか、ぜひご覧ください。

民俗辻広場まつり

4月29日に辻川一帯で民俗辻広場まつりが行われました。記念館前と生家でもイベントが行われました。とてももりあがっていました。

メイン会場となった記念館前では、福崎高校ギター・マンドリン部による、ギター・マンドリンの演奏が行われました。田原小学校児童による手話コーラス、福崎中学校合唱部によるコーラスが行われました。



コーラスの様子

柳田國男生家では、図書館ボランティアによる民話のお話や紙芝居がありました。みなさん、じっくり聴いておられました。



お話の様子

### くによはん覚書

#### 時の記念日



6月10日は時の記念日です。『日本書紀』によれば天智天皇が671年の6月10日に初めて水時計を用いました。これを記念したのが「時の記念日」。大正9年に決められたときに、東京天文台は電話で正確な時刻の問い合わせに応じるサービスを始めました。

古代から明治になるまで、時刻の呼び方は十二支を順にあてはめていました。1日を十二に分け、午後11時から翌日の1時までが子の刻。午前1時から3時の二時間が丑の刻。午の刻は午前11時から午後1時の2時間で、真ん中が正午。午前と午後は午をはさんで前と後ろという意味。一刻二時間を四つに分けて30分単位の時間も合わせて使われました。一ツ時、四ツ時というものです。『草木も眠る丑三ツ時』は深夜2時から2時半の間を指します。

一方、明け六ツ、暮れ六ツというのが江戸物の時代劇に出てきます。日出から日没までを明け、日没から日出までを暮れと呼び、それぞれ六等分します。午前は六ツから始まり、五ツ、四ツと数え、正午を九ツと呼び、午後は八ツ七ツ六ツとします。六ツが半分過ぎると六ツ半と呼びます。(出典 樋口清之。樋口清之の雑学おもしろ殿時記)

## 会員募集中!

財団法人柳田國男・松岡家顕彰会は、一昨年、会員制度を発足させました。入会者には会員証をお渡ししています。

法人会費 一〇〇〇〇円  
個人会費 一〇〇〇円

### 特典

記念館無料入館  
個人(本人+家族一名)  
法人(二〇・四名まで)  
もちむぎのやかた  
レストラン1割引他



ご利用案内  
【開館時間】  
午前9時～  
午後4時30分

【休館日】  
月曜日・祝日の翌日、12月28日～1月4日

【入館料】  
大人2000円(団体割引は  
学生1500円 20名以上)  
小人1000円